

第2期滋賀県教育振興基本計画の成果指標・事業目標の進捗状況（平成29年度末時点）

指標・事業	(H24実績) (策定時実績)	(H26実績) (過年度実績)	(H27実績) (前々年度実績)	(H28実績) (前年度実績)	H29実績	H29目標 (策定時目標)	H30目標 (策定時目標)	評価区分		所管
								H29		
								評価と課題		
1. 子どもたちのたくましく生きる力を育む										
1 「確かな学力」を育む										
1	教員が授業中の働きかけや子どもの学習活動を分析し、相互に研修する回数（授業研究を伴う校内研修を年間11回以上実施している学校の割合）	小学校 21.0% 中学校 6.6%	小学校 24.0% 中学校 14.6%	小学校 23.6% 中学校 13.8%	小学校 86.1% 中学校 74.0%	小学校 88.1% 中学校 81.1%	小学校 80% 中学校 80%	小学校 80% 中学校 80%	○ 授業研究を伴う校内研修の実施率は大きく向上したが、今後は、校内研修の内容をいっそう充実させ、授業改善のポイント等について全教員での共有化を図り、指導力を向上させる必要がある。	幼小中教育課
2	「国語の授業の内容がよく分かる」と回答した児童生徒の割合	小学生 36.6% 中学生 15.3%	小学校 30.4% 中学校 17.5%	小学校 35.2% 中学校 20.0%	小学校 35.2% 中学校 24.2%	小学校 39.7% 中学校 26.0%		小学生 40% 中学生 30%	○ 小中学校ともに改善傾向にあるものの、いっそうの指導方法の改善が必要な状況である。個々の子どもの学習状況の把握に努め、支援を充実させなければならない。	幼小中教育課
3	放課後を利用した補充的な学習サポートを実施する小学校の割合（週1回以上実施している学校の割合）	3.0%	27.3%	28.3%	31.4%	H28で事業終了		30%以上	- 県の放課後活用事業等の取組により、H28末で目標値を達成したが、今後は退職教員の豊かな経験を活用した学校教育活動支援事業等を活用し、補充的な学習サポートの充実を努める。	幼小中教育課
4	不読者（月に1冊も本を読まない児童生徒）率	小学生 3.5% 中学生 17.2% 高校生 41.8%	小学生 2.4% 中学生 13.9% 高校生 44.5%	小学生 2.5% 中学生 13.8% 高校生 42.6%	小学生 2.6% 中学生 12.6% 高校生 41.0%	小学生 2.9% 中学生 12.3% 高校生 40.2%	小学生 2.3% 中学生 11.0% 高校生 32.0%	小学生 2.0% 中学生 10.0% 高校生 30.0%	△ 目標値は達成には及ばなかったが、おおむね改善傾向にあり、引き続き小・中・高すべてにおいて、全国平均を下回っている。ただし、高校生の不読率は、全国結果同様に依然高い数値で推移しており、改善を図る必要がある。	生涯学習課
2 「豊かな心」を育む										
5	「自分にはよいところがある」と回答した児童生徒の割合	小学生 78.0% 中学生 64.2%	小学生 77.3% 中学生 64.1%	小学生 76.8% 中学生 64.9%	小学生 78.4% 中学生 67.1%	小学生 78.7% 中学生 68.8%		小学生 83% 中学生 70%	△ 自尊感情の重要性に対する理解と取組の広がりから増加傾向にあるが、目標値には達していないため、継続した取組が必要である。	人権教育課 幼小中教育課
6	人権教育において「参加・協力・体験」的な学習を行っている学校の割合	84.0%	99.2%	98.5%	100.0%	100.0%		100%	○ 教員の意識の向上により「参加・協力・体験」的な学習が定着してきた。自ら「考え、感じ、行動する」学習を通して、実践的な行動が身に着けられるよう、さらなる工夫・改善に取り組む必要がある。	人権教育課

	指標・事業	(H24実績) (策定時実績)	(H26実績) (過年度実績)	(H27実績) (前々年度実績)	(H28実績) (前年度実績)	H29実績	H29目標 (策定時目標)	H30目標 (策定時目標)	評価区分	所管
									H29	
									評価と課題	
7	主体的に文化芸術活動に取り組む高校生の割合	24.4%	26.3%	27.3%	26.7%	25.4%	27.4%以上	27.4%以上	△ 平成27年度に開催した第39回全国高等学校総合文化祭を契機に、文化部活動の充実を図るため、平成28年度からジャンプアッププロジェクトを実施した。対象となった部会、高校では活動の活性化が図られた。文化部への加入率については、一定の増加がみられたものの、平成29年度は目標値にわずかに届かず、前年度より1.3%減少した。引き続き、文化部活動のさらなる発展と、次世代の文化芸術を担う若手芸術家と拠点校・伝統校の育成に向け、県内の学校や文化部の各部会、県高等学校文化連盟と連携しながら事業を進めていく必要がある。	高校教育課
3 「健やかな体」を育む										
8	小学校「健やかタイム(10分間運動)」の実践校数		18校	152校	全小学校 (223校)	全小学校 (222校)		全小学校	○ 実践校数が策定目標を達成した。体力調査の結果では、小学校5年生の体力合計点は、H29年度において男女ともにH24年度以降で最高値を示した。今後は、新学習指導要領への移行により、10分間運動の実施が難しい状況もあるため、学校事情に合わせた取組として推進できるように指導していく必要がある。	保健体育課
9	子ども体力向上授業実践交流に参加する小学校教員数		279人	234人	268人	243人	230人	230人	○ 参加教員数が策定目標を達成した。今後さらに体育の授業を充実させることにより、運動することが好きと感じられる児童を増やせるように、小学校教員の指導力向上に取り組んでいく必要がある。	保健体育課
10	中・高等学校教員の運動部活動指導者研修会受講者数(累計)		680人	1,016人	1,352人	1,662人	1,500人	1,800人	○ 受講者数(累計)の実績は、策定時目標を達成した。今後も引き続き教員の指導力向上に努め、部活動指導に関する研修内容や研修機会の充実に取り組んでいく必要がある。	保健体育課
4 「滋賀の自然や地域と共生する力」を育む										
11	県内公立登録博物館を学校教育で訪れた県内小・中学校の児童生徒数	24,807人	23,789人	19,590人	24,132人	25,134人	26,800人	27,300人	△ 目標数値には及ばなかったが、策定時実績や過年度実績に比べると人数は着実に増加してきている。	文化財保護課

指標・事業	(H24実績) (策定時実績)	(H26実績) (過年度実績)	(H27実績) (前々年度実績)	(H28実績) (前年度実績)	H29実績	H29目標 (策定時目標)	H30目標 (策定時目標)	評価区分		所管
								H29		
								評価と課題		
5 共生社会に向けた多様なニーズに対応する教育の推進										
12	「個別の指導計画」を作成している児童生徒の割合	小学生 74.8% 中学生 66.0% 高校生 32.3%	小学生 85.3% 中学生 77.1% 高校生 49.9%	小学生 91.2% 中学生 81.1% 高校生 56.9%	小学生95.4% 中学生86.4% 高校生76.7%	小学生96.4% 中学生91.1% 高校生78.3%		小学生 100% 中学生 100% 高校生 80%	○ 市町の拠点校への発達障害アドバイザーの配置や高等学校への専門家の派遣等により、障害特性に応じた指導・支援の充実と教員の専門性の向上を図るとともに、計画の作成率の向上を図ることができた。 引き続き、教員の専門性の向上に努める必要がある。	特別支援教育課
13	「個別の教育支援計画」を作成している児童生徒の割合	小学生 36.3% 中学生 32.6% 高校生 11.6%	小学生 46.1% 中学生 45.3% 高校生 26.3%	小学生 55.9% 中学生 53.4% 高校生 31.2%	小学生69.4% 中学生64.2% 高校生39.2%	小学生73.7% 中学生70.6% 高校生48.7%		小学生 80% 中学生 80% 高校生 50%	○ 市町の拠点校への発達障害アドバイザーの配置や高等学校への専門家の派遣等により、障害特性に応じた指導・支援の充実と教員の専門性の向上を図るとともに、計画の作成率の向上を図ることができた。 引き続き、教員の専門性の向上に努める必要がある。	特別支援教育課
6 多様な進路・就労の実現に向けた教育の推進										
14	特別支援学校高等部卒業生の就職率	17.5%	22.7%	27.6%	28.5%	29.6%		28%	○ 企業の知見を生かした授業改善に取り組むとともに、「しがごと検定」の実施など、地域の企業と連携した職業教育の充実により、高等部卒業生の就職率が向上した。 引き続き、一人ひとりの能力を最大限引き出せるよう、職業教育の充実を図る必要がある。	特別支援教育課
2. 社会全体で子どもの育ちを支える										
2 教職員の教育力を高める										
15	「滋賀の教師塾」の卒業生による全課程の評価	96.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100%	100%	100%	○ 「滋賀の教師塾」を開設し、滋賀県で教師になりたいという学生に対して多様なプログラムを通じ、教師として必要とされる資質や能力、使命感の向上を図った。今後は児童生徒の複雑化する課題に対応するため、各講座の充実を図り、実践的指導力の育成に努める必要がある。	教職員課
16	総合教育センターの行う小・中学校、市町教育委員会への出張支援	44.0%	61.1%	63.9%	64.9%	65.9%	50%	50%	○ 出張支援については、学校・市町教育委員会等の要望を受け入れ、回数も増加傾向である。今後も出張支援を継続して増やしていくとともに、市町教育委員会等と連携したサテライト研修(H30より実施)を開催し、教職員としての資質・向上を図っていく。	総合教育センター

指標・事業	(H24実績) (策定時実績)	(H26実績) (過年度実績)	(H27実績) (前々年度実績)	(H28実績) (前年度実績)	H29実績	H29目標 (策定時目標)	H30目標 (策定時目標)	評価区分		所管
								H29		
								評価と課題		
3 安全・安心な学校・地域をつくる										
17	いじめの認知件数に占める解消しているものの割合	91.5%	89.7%	92.1%	82.1%	調査中	100%	100%	— 平成28年度に解消の要件が新たに加えられたため、一概に前年度と比較することはできないが、解消率が落ちることとなった。また、重篤化する事案も散見されることから、今後も子どもの目線に立って、早期発見、早期対応に努め、丁寧に対応することで解消に努めていく。	幼小中教育課
18	県立学校施設の耐震化率	77.2%	88.0%	93.4%	97.6%	100.0%		【H29目標】 100%	○ 平成29年度に耐震化工事を完了した。今後、県立学校の施設設備は経年劣化等が顕著であり、今後、老朽化対策を進めていく必要があるが、「事後保全から予防保全へ」の観点から、引き続き長寿命化対策を計画的に実施していく。	教育総務課
19	学校防災委員会を年間3回以上開催した小・中・高等学校の割合		45.7%	51.0%	82.7%	84.1%		100%	△ 目標値には達していないものの、3回以上開催した学校の割合は年々上昇している。今後も、学校防災委員会において、消防署との連携や実践的な避難訓練の計画・評価等、有効な協議が行えるよう指導していく必要がある。	保健体育課
4 子育て環境支援の充実を図る										
20	家庭教育協力企業協定（しがふあみ）の締結企業・事業所数	1,249社	1,354社	1,366社	1,424社	1,438社	1,330社	1,345社	○ H29末1,438社。協定企業数は順調であるが、企業内家庭教育学習講座の開催等、内容の充実が望まれる。	生涯学習課
5 社会全体で子どもを育てる環境をつくる										
21	全ての小・中学校区において、学校支援地域本部など学校と地域が組織的に連携・協働する体制を持つ学校の割合	44.0%	50.6%	53.9%	79.9%	86.5%	90%	100%	△ 学校と地域が組織的に連携・協働する体制を持つ学校の割合は約1.7倍（H26:50.6%→H29:86.5%）となり、市町では、一定の体制づくりができた。さらに地域の学校への支援から双方の連携・協働へと内容を充実させていく必要がある。	生涯学習課
22	学校支援ディレクターがコーディネートして、「学校支援メニュー」に係る連携授業を実施した学校の割合	36.0%	46.6%	52.2%	56.0%	60.0%	55%	60%	○ H29末で231校60%。目標は達成できているが高等学校の利用率（H29末で11校23%）が低く、高校生メニューの開拓や啓発が必要である。	生涯学習課

指標・事業	(H24実績) (策定時実績)	(H26実績) (過年度実績)	(H27実績) (前々年度実績)	(H28実績) (前年度実績)	H29実績	H29目標 (策定時目標)	H30目標 (策定時目標)	評価区分		所管
								H29		
								評価と課題		
3. すべての人が共に育ち、社会を創る生涯学習を振興する										
2 健康づくりと生涯スポーツの振興										
23	県内総合型地域スポーツクラブで指導する有資格者数（累計）	271人	212人	224人	271人	263人	771人	871人	△ 有資格者の活動の場の減少に伴い、有資格者数は減少傾向にあることから、活動の場の拡大に取り組む必要がある。	スポーツ局
3 魅力ある文化の振興と歴史文化に親しむ機会の充実										
24	「千年の美つたえびと」の養成者数（累計）		394人	641人	867人	H28で事業終了	900人	1,000人	— H28で事業を終了し、「滋賀の美と祭りのところを伝える人づくり事業」に再編をしたが、目標は着実に達成できた。	文化財保護課
4 生涯学習の場の充実										
25	「におねっと」の講座情報登録数	1,848件	1,960件	2,467件	2,380件	2,208件	2,100件以上	2,100件以上	○ 平成27年度から各年度において目標値以上の情報提供を行い、学びの場づくりの支援を着実に行えた。今後は、利用拡大のために、広く周知して、内容の充実や利便性の向上を図っていく。	生涯学習課
26	県立図書館来館者数	254,000人	248,074人	243,006人	248,357人	237,364人	264,000人	266,500人	△ 計画的な図書等の整備や資料の展示方法の工夫、各種行事等の開催により図書館利用の促進に努めたが、目標の90%程度にとどまった。今後も継続して計画的な図書資料の整備を行うとともに、所蔵資料等に関する情報の発信や土曜サロン等の催し物開催を継続的に実施していく必要がある。	図書館

※○…H29年度目標達成（H29年度目標を定めていない場合、H28年度から数値が改善している）

△…H29年度目標未達成（H29年度目標を定めていない場合、H28年度から数値が改善していない）

—…実績値なし・集計中